



三原村ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因と見られる気候変動の影響により、世界各地で自然災害が多発しており、我が国においても、台風の巨大化や集中豪雨等により、各地で甚大な被害の発生、さらには自然環境や生態系への悪影響など、気候変動の影響が顕在化しています。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するために「2050年までにCO₂（二酸化炭素）の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されております。

本村においても、緑と水豊かな自然を守り、魅力ある安らぎの村の維持発展のため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、その実現に向け自然再生エネルギーの活用など「脱炭素」への取り組みを推進していくことをここに宣言します。

令和4年12月8日

三原村長 田野 正利